

第9回「昭和未来会議」のまとめ

1. 概要

平成29年2月12日、知立団地「昭和老人憩の家」にて、第9回昭和未来会議を開催しました。今回も、これまでの展開をふまえて、各グループのこれまでの状況に応じた進め方でワークショップをおこないました。(参加者15名)

2. まとめ

今回も、「毎回は参加できず、これまでのストーリーが共有できていない人もいる」という理由から、まず、これまでのおさらいを行いました。

～「これまでのおさらい」の概要～

まず第1回昭和未来会議では、「昭和地区の理想の未来」をテーマに意見交換を行い、昭和地区の「課題」と「理想の未来」を共有しました。次に、第2回・3回昭和未来会議では、昭和地区をよりよくしていくために、「やってみたいこと」について意見を出し合いました。

これらの話し合いを通じて、「それぞれの生き方や経験をもとにした、様々な考え方や価値観があること」を知りました。一方で、「昭和地区の多くの皆さんが共通で考えている課題や理想の未来」も見えてきました。

▶ 昭和地区共通の理想の未来①：若者にとって魅力ある昭和に！

⇒若者の定住・移住が必要！ まず、在住の若者がいきいきと活躍、魅力を感じる昭和に！
若者の活躍を皆が歓迎・応援する気運も大事！

▶ 昭和地区共通の理想の未来②：みんなが安心して暮らす昭和に！

⇒高齢者も、外国籍住民も、子どもたちも！

今後は、この共通の理想の未来のために「やってみたいこと」について、話し合いを続けていくことになりました。また、この他に、「地域住民同士の情報共有」「行政や関係者との情報共有の場」としても効果を発揮し、地域だけで解決できないことは、それぞれの立場から創意工夫をしていくという考え方についても意見がまとめられました。

そして、第4回以降、様々な立場や考え方の人達が合意形成していく難しさを実感しつつ、『やりたいこと』を具体的に、実行するための話し合いが続いています。

また、「話し合いのメンバーが固定できないため、アイデアの実行に向けた話し合いがなかなか進まない」というこれまでのご意見と合わせて、今後の会議の進め方を検討する必要があるという声も上がりました。事務局もこの件については次の展開を検討中で、3月の昭和未来会議で、今後の進め方について皆さんへ報告するということになりました。

続いて、3つのグループ、「イベント」「支援が必要な方に対してできること」「交流の場」に分かれて話し合いが行われました。

各グループの意見を集約すると、以下のようにになりました。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

<これまでのストーリー>

◆イベントは、交流促進や地域に活気をもたらすきっかけとして効果的です。昭和未来会議でも、新しいイベントについての多くのアイデアがあげられました。

◆しかし、実際に新たなイベントを行うとなると、「人（中心的人物や協力者）、場所、資金、地区内の他のイベントとの兼ね合い」等の理由で、新しいイベントの開催は難しいというのが11月の昭和未来会議を終えての主な意見でした。

◆そこで、イベントグループの話し合いの節目として、既存イベントの情報整理をはじめました。
⇒12月の会議では、イベントの意義について改めて考え、視点を取りまとめました。その上で、2つの方向性が示されました。

①こちらは、3月の昭和未来会議で皆さんに報告できるように準備！

イベント情報の整理は事務局で引き継ぎ、その後、町内の関係者の皆さんに内容をご確認頂き修正した上で、様々な形で活用していくことになりました。

⇒既存イベントへの活性化。参加者、協力者の増加

⇒運営者が各イベントの情報を知ること、内容の磨き上げやイベントの存在に繋げる

⇒新規のイベントを考えたいという住民が出てきた際の参考とする

⇒定期的に情報を修正・更新し、昭和未来会議で管理、活用していく

②子ども向けの防災イベントをやってみようという、アイデアが出され、実現に向けて話し合いが行われました。

まず、前回のおさらいも踏まえて、「イベントの意義」の再確認が行われました。その都度「イベントの意義」を再確認することで、会議が堂々巡りにならないよう、昭和の未来に向けて、各種活動が行われるようにしていこう、という願いが込められています。

(※内容は、次頁の第8・9回の意見まとめをご参照ください)

第8・9回の意見まとめ

※網掛け部分が第9回会議の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・(災害) 体験イベント NEW!! ・ ↑ 子ども向け!! 大人の役割も ・ 別途企画書をつくる (堂々巡りにならないよう に) その都度確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の防災訓練とは別の物で ・ 遊び心も大切 ・ 事前の地区の特徴出し ・ 炊き出し⇔食 ・ 前回のフェスの災害イベントは 12人×5=60人 + 親 ※子ども向けの物だけでなくすぐ実施 できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両輪! (「イベント」と「日々 の交流」) ・ 接着剤としての 防災イベント
<ul style="list-style-type: none"> ・ →時期 ベストは?? ・ リストづくり。文化人など地域の宝も ・ 東っ子カーニバル。地域の達人に学ぶ (地域交流)、2017.2.18 ★10:00~11:00 ★オコシモノ 加藤さん 		
<p>だれ 誰が</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーの固定も必要 ・ オヤジの会を昭和地区でサポート ・ オヤジの会、キタジマさんがお声掛け ・ 若い世代が参加しやすい形 ・ 竹内さん提言を反映 ・ いずれ…ほほえみの里との連携 ・ 別途で打合せ開催 	

<p>きょうりよく 協 力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ママ かきつばた (子育てサークル) → 勉強会やっている。 転倒防止、リュックの準備 → 行政 ・ “みらい”の協力 ・ いずれ外国籍の方も (将来的に?) ・ (高橋さん) スクールガードも巻き込んでやってあげれば → どこに協力を求める? ・ 自衛隊にとってもよいPRの場に ・ 消防も関わってくれた → 興味がない。興味を持ってもらうことから → やりやすいアクション、しやすい形 ・ 学校周知でも巻き込む。夏休みに実施 参考: 八ッ田小 夏休み学校で キャンプ (希望者、防災も兼ねている)。竹を切って流しそうめん。校庭で テント、東小でオヤジの会の防災イベント + 外国籍の方も巻き 込む → 東小でやれないか ・ 多文化共生プランでも外国子ども・防災で ⇔ 連携 ・ 町内会 → 関わって頂きやすいように上手に巻き込む 昭和の交流が目的なので、町内会も関わって頂くのが理想 先例がないので、難しい? ⇒ まずは任意で協力してもらえるところから
<p>じょうほうはっしん 情 報 発 信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録係重要 ・ 防災イベントもやるが、イベント情報整理も必要 ⇒ 皆で考えるものではない
<p>た そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6~9丁目が少ない ・ 東小、先生にもWSに入ってもらえばよい ・ 未来会議だから、未来を考える。5~10年先 ・ PRの機会。参加者少ない。いろいろやっているが、運営する人が集まらない ・ 企画書作っては? ・ 固定で話し合いを続けるメンバー → おやじの会に丸任せではなくて一緒にやる

イベントの
もくてき
目的

- ・ 未来につながる！！
- 企画／堂々巡りにならないよう／多くの人に共感／多くの人協力
- ・ 今までのイベントは個々で。皆が知っているものではない
- ・ 目的がうやむやだと今までと同じ
- ・ 災害時の昭和の位置づけは？？
- ↑ イベントの目的・効果
- ・ 子ども向けの意義を。楽しくやるためにも
- ・ まちへの意識の低さ ← 防災への意識の低さ
- ・ 子どものためになることを。大川小の例。想定外
- ・ このグループでの議論スタート
- ・ 全体の位置づけ、このイベントの目的を明確にしてから
- ・ 年度またぐ ⇒ 引き継ぎ！！
- ・ 市で協力について確認
- ・ 市の防災訓練 8月
- ・ 夏休み、東小で防災イベント 消防、自衛隊、炊き出し、子ども向け楽しさも
- ・ 既存の防災訓練は、ブースはいろいろあるが、子ども向けはほとんどない
- ・ 大浜さん次回も！区長終わっても！！おやじの会だから
- ・ 市防災訓練地区のやつ。校庭は空いている
- ・ 自分の命を守るため

グループ②『支援が必要な方に対してできること』

<これまでのストーリー>

◆ここ数回話題となっている「認知症対策」。高齢化が著しい昭和地区でも重要な対策の一つとなります。

◆これまでの会議の中でも、認知症対策についてのアイデアが幾つかあげられてきました。今後も様々な高齢者対策が必要となりますが、昭和未来会議では、まず、はじめに認知症について考える機会について検討していけないか考えていただくことにしました。

◆第8回目以降の会議では、行政や社会福祉協議会と相談しながら、具体的に昭和地区で認知症対策の取り組みが行えるよう、事前に事務局が準備した実施イメージをもとに検討を進めました。

⇒ 実施イメージは次頁、会議意見については、次々頁をご参照下さい。

(今後について)

- ◆まず、昭和未来会議の参加者を中心にプレ体験ができるよう、日程の調整を行います。
(または、2月25日(土)にプラザ昭和(ほほえみの里)で行われる「認知症サポーター養成講座」に参加してみます。)
- ◆「劇団」のアイデア等についても、実現可能な時期や内容について検討を続けます。

その他...

- ◆地域全体への取り組みの周知や、意見交換、連携推進のため、「昭和区長会議」等の協議の場づくりを検討します。

※網掛け部分が第9回会議の意見

参加者も増やすきっかけは？

地域での子育て支援を行う(若い人を歓迎する。NPOで実施。)

生涯学習を通じて団地の内外がつながっている。これを活かす

グランドゴルフ昭和支部は週2回、多くの人が集まっている。(役員の手は不足している)

回覧板を回すだけでは、参加者が集まらず、声掛けで集まる

認知症の予防の話をした方が良い

支援の関わり方。予防

予防の知識を得ること

連携して事業を行ったり、課題の共有や

意見交換のため、「昭和区長会議」のよう

な協議の場を設置したい

一緒になってやれる場合と、町内によって

実情が違い難しい場合もある

2月25日(土)13時30分～プラザ昭和で実

施の認知症サポーター養成講座に行つて

みてもいい

昭和の施設の利用。多目的であってもよい。有効活用することが大切

既存組織活性化

おしゃべり屋食会集会場で月1回。月3回20～〇時。参加者の出席を気に掛けている

講座(公的)から自主講座(自主G)へ

サークル活動への行政助成方法の検討

集う場所(居場所)が多くあること

運営リーダーがいない

情報(集まり)を地域全体が共有できるか？

カラオケ週1回、手芸(もやいこで週1回)いろいろな方が興味を持るとよい

生涯学習

集まり 40数人、平均80歳、月1回、古典講座

サポーターになつてもらもなかなか認知症の方と接する機会がない

家に閉じこもらないようにする

グループ③『日頃の交流の場』

<これまでのストーリー>

◆話がなかなか進まない所以对象を絞って議論してはどうか、というご提案があり、子ども、高齢者の視点で意見交換を進めるように準備しました。

◆まずは、新規のアイデアよりも、既存の活動を中心に検討していこう。ということで、話し合いがはじまりました。

◆「グランドゴルフ」、「畑づくり」、「東小のせせらぎの会とのつながりの検討」、「“みらい”の活動とのつながり」などが、検討内容としてあげられています。

◆引き続き、既存活動から広げる候補について検討し、まず、最初に手掛けてみる活動を絞り、具体的なアクションに向けて話し合いを進めていきます。

◆今回の第8回会議では、このグループには初めて参加するという方を中心に話し合いが行われました。新しい視点からの意見があげられています。

(アイデアの詳細は次頁をご参照下さい)

※「農園」「グランドゴルフ」等これまでの意見については、関係者の揃う機会に改めて意見交換を行います。

第8・9回の意見まとめ

※網かけ部分が第9回の意見

	既存の活動	今後の取組み	その他
子ども	・“みらい”	・英語を話せる人がいるとい	・外国人 →学用品に困っている →バザーをやるとたくさんきそう！！
	・拠点か狭い		・外国籍の人も日本人と話をしたい！という人がいる
	・東小 せせらぎの会		
	・東っ子カーニバル(イベント) 地域の人と子ども達遊ぶ		
		・外国の人とも関わられるように	
	・歴史研究会 (知立全体) 三丁目の人が先生		
	・パルケ	・大人と子どもが遊ぶような一月に1日できれば	
	・縄跳びが盛り上がった	・オヤジの会の人に協力をお願いしている	
	・現在10人くらいで運営。20歳代～高齢の方まで	・遊休農地はある	
	・いろいろな遊びがその場で生まれた	・一月に1回話し合うことをしている	
・一月に1回やれれば	・学校、幼稚園、保育園に呼びかけ		
・畑作り 新規 ※参考 刈谷			
・毎日行かなくてはいけない？ (収穫期)			
高年齢者	・グランドゴルフ	・ママともコミュニケーション	・プレイパーク。遊具を運んで3～4人でやっている

	既存の活動 きぞん かつどう	今後の取組み こんご とりくみ	その他 た
	・↑外国人がグラウンドを荒らしたりしている？マナーのこと も…		
		・親同士の交流が生まれると いい	・ノコギリとかトンカチ とかを使う（風船、 みずでっぼう 水鉄砲）
		・ブラジルとの文化の違いを 伝える、共有することが大切	
	・ラジオ体操	・ラジオ体操から交流が広 るといい	・知立団地はフレンドリ ー
	・カラオケの会	・お母さん世代（時間のある 人）が、交流できれば	・近隣との関係や利便性 がいい
	・昭和ウォーキングの 会 三丁目の人中心	・日本の歌を勉強する会（カ ラオケ）	
		・カラオケの会。外国人の人も 知っている曲でできれば…	
		・もやいこのとなりを地域の 拠点に →夜のボランティア アがいたら…	・←国際交流がメイン の目的